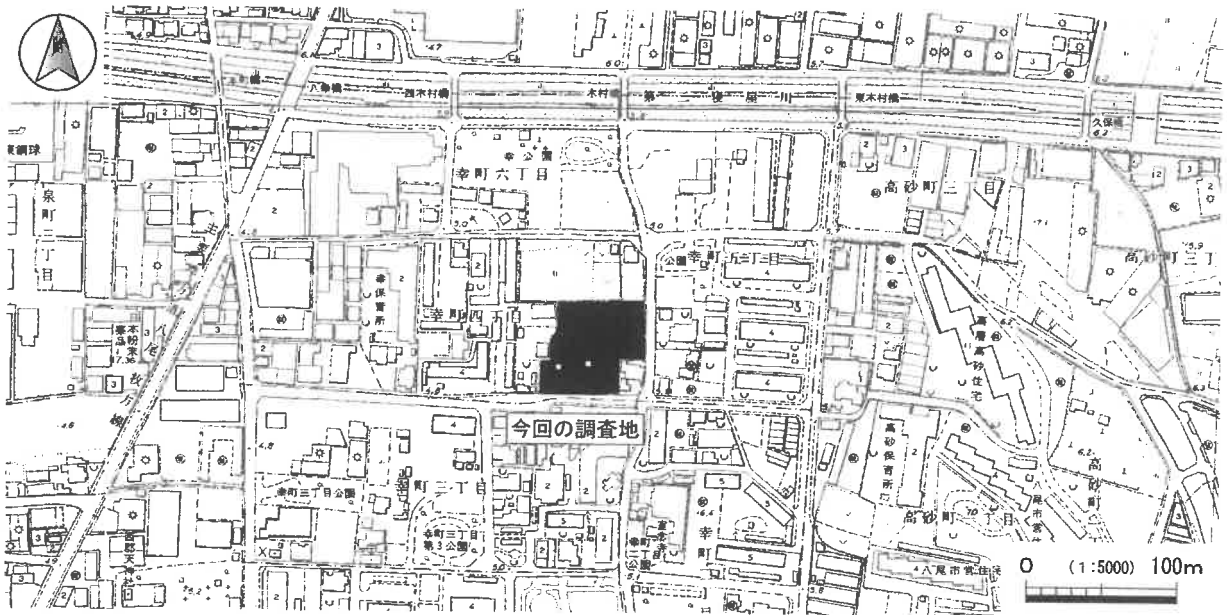
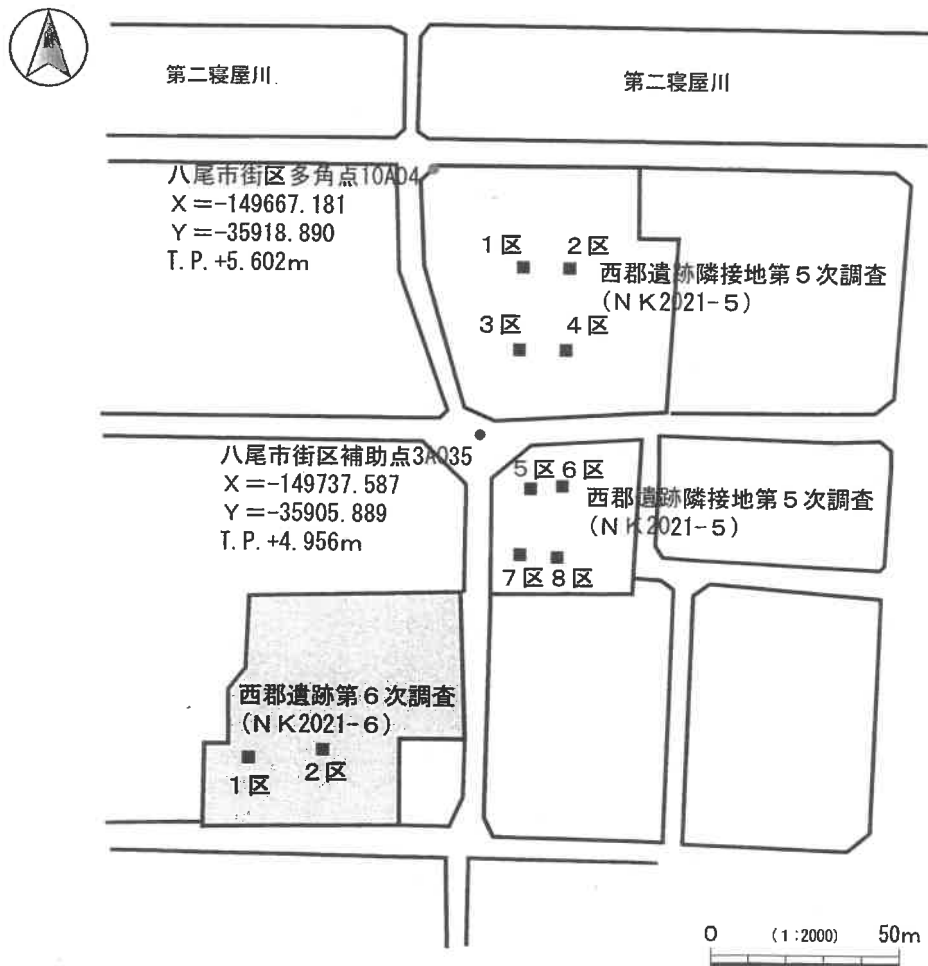


埋蔵文化財発掘調査概要報告

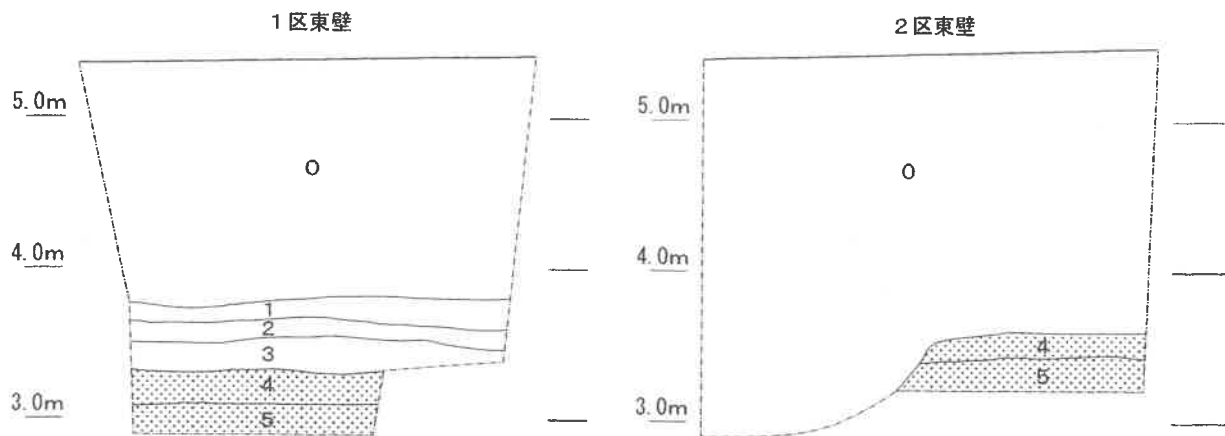
1. 調査地	大阪府八尾市幸町四丁目3-1, 4, 8-1, 13-1, 29-3, 35, 37-2
2. 遺跡名	西郡遺跡第6次調査 (NK2021-6)
3. 調査面積	約18m ² (3.0×3.0m 2箇所)
4. 調査期間	令和3年9月8日～12月9日 (外業実働2日)
5. 調査委託者	八尾市 代表者 市長 山本桂右
6. 調査事業名	八尾市営西郡住宅(14号館～18号館)建替事業に伴う西郡遺跡埋蔵文化財遺構確認調査業務
7. 調査担当	西村公助
8. 地理・歴史的環境	長瀬川と玉串川に挟まれた沖積地上に立地する弥生時代～中世に至る複合遺跡。
9. 調査方法	現地表 (T. P. +5.4～5.5m) 下2.5m前後を人力・機械併用で掘削。
10. 調査概要	今回の調査は、八尾市営西郡住宅の敷地内に調査区2箇所(西から1・2区)を設定し実施した。 現地表 (T. P. +5.4～5.5m前後) 下1.6～1.8mは客土・盛土層および攪乱(0層)である。以下、現地表下2.5m前後までに5層の基本層序を確認した。1層は旧作土層 (T. P. +3.7～3.8m) である。2・3層は作土層 (2層:T. P. +3.6m 3層:T. P. +3.5m) である。4・5層は河川堆積層 (4層:T. P. +3.3m 5層:T. P. +3.1m) である。遺構の検出および遺物の出土はなかった。
11. 調査成果	今回の調査では、T. P. +3.3m以下で河川堆積層を確認したほか、その上位では2枚の作土層を確認した。作土層の時期は、遺物の出土がなく不明ではあるが、周囲の調査成果から2層が近世、3層が中世頃と考えられる。
12. 写真	別紙



第1図 調査地周辺図



第2図 調査区位置図



- 0 : 客土・盛土層・攪乱
 1 : 黒色細粒砂混粘土(旧作土層)
 2 : 暗青灰色シルト混粘土(作土層)
 3 : 暗青灰色細粒砂混粘土(作土層)
 4 : 灰色シルト～細粒砂(河川堆積層)
 5 : 灰色細～粗粒砂(河川堆積層)

第3図 断面図



調査前周辺状況(西から)



1区掘削前周辺状況(西から)



1区機械掘削状況(東から)



1区全景(西から)



1区全景(南から)



2区機械掘削状況(東から)



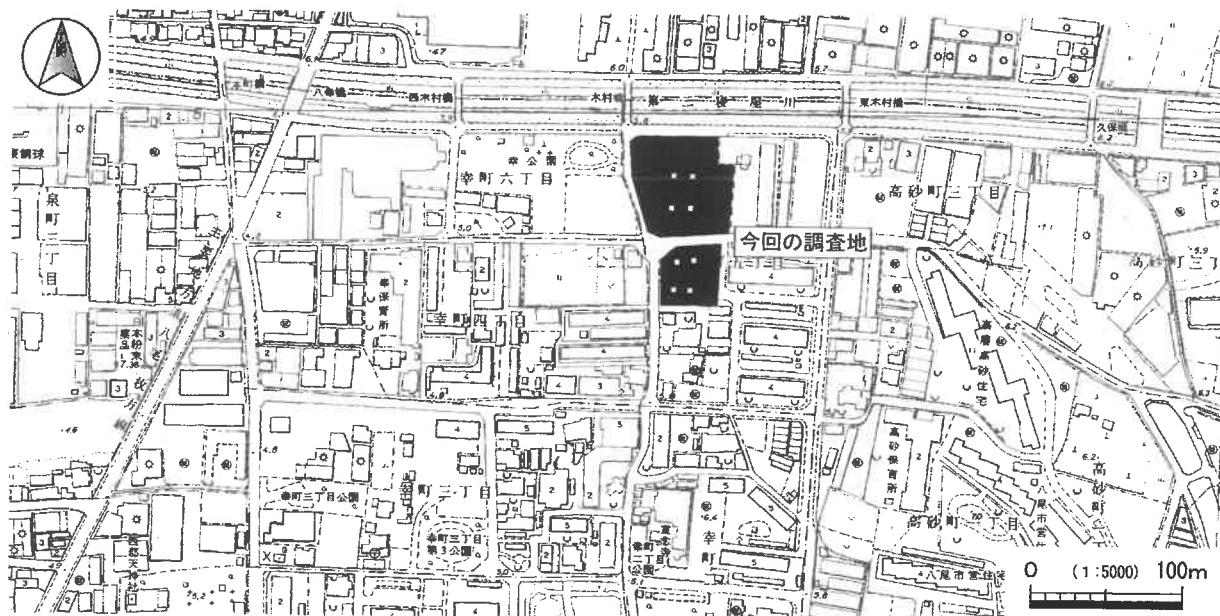
2区全景(西から)



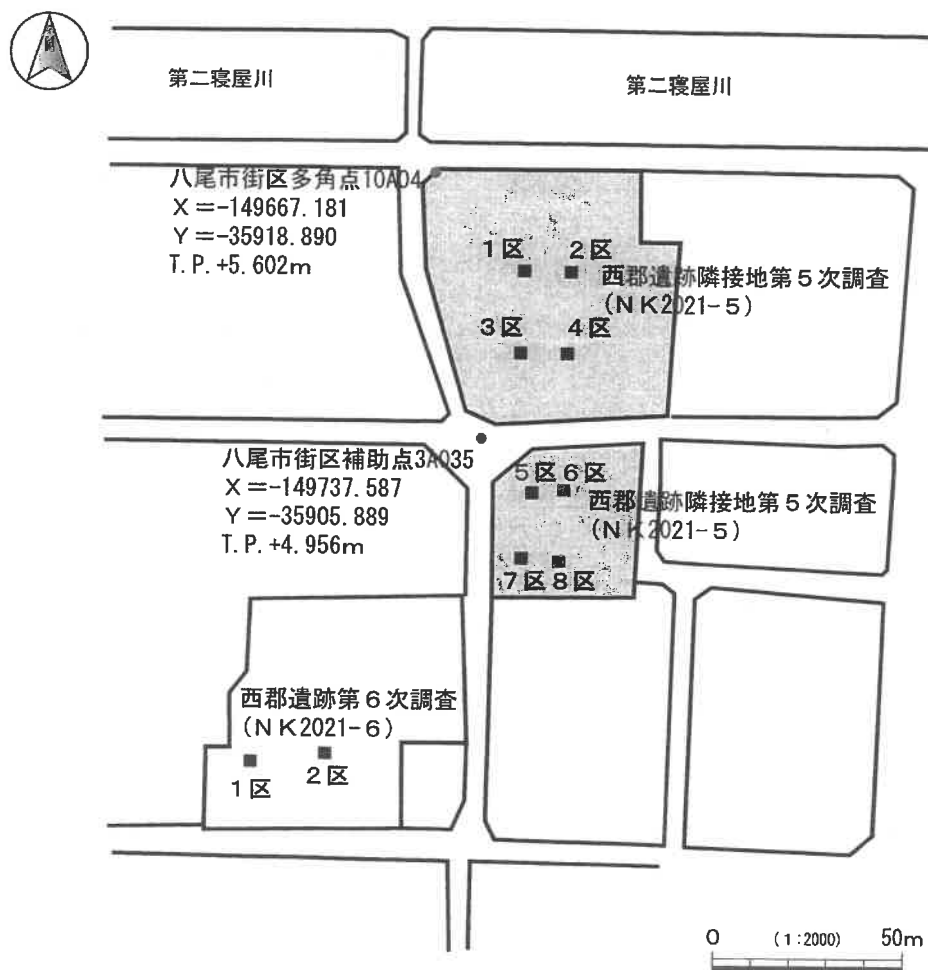
2区全景(南から)

埋蔵文化財発掘調査概要報告

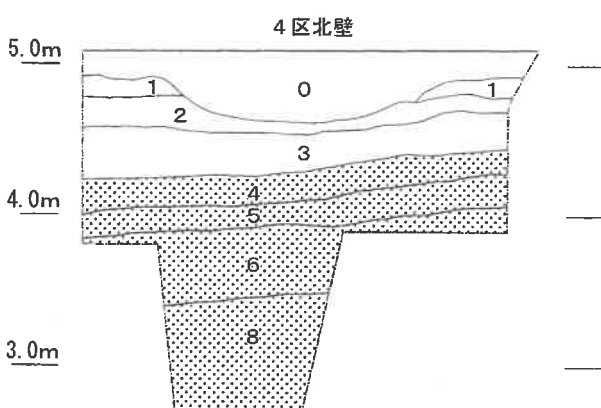
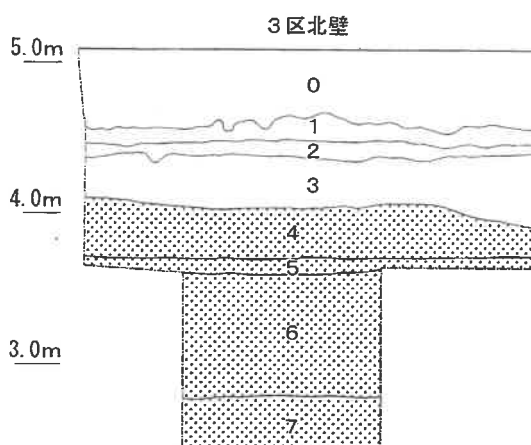
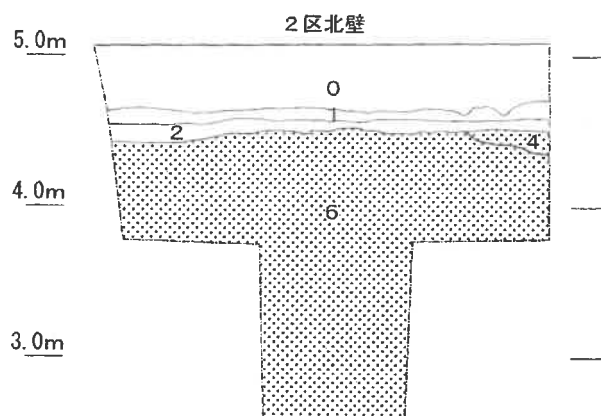
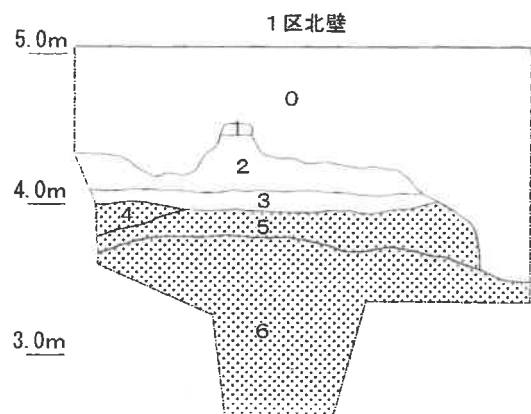
1. 調査地	大阪府八尾市幸町五丁目12-1, 28-3, 28-4, 28-5, 30-4, 31-1
2. 遺跡名	西郡遺跡隣接地第5次調査 (NK2021-5)
3. 調査面積	約72m ² (3.0×3.0m 8箇所)
4. 調査期間	令和3年8月4日～12月8日 (外業実働8日)
5. 調査委託者	八尾市 代表者 市長 山本桂右
6. 調査事業名	八尾市営西郡住宅(14号館～18号館)建替事業に伴う西郡遺跡隣接地埋蔵文化財試掘調査業務
7. 調査担当	西村公助
8. 地理・歴史的環境	長瀬川と玉串川に挟まれた沖積地上に立地する弥生時代～中世に至る複合遺跡。
9. 調査方法	現地表 (T. P. +6.1m) 下2.5m前後を人力・機械併用で掘削。
10. 調査概要	今回の調査は、幸町五丁目第1公園に4箇所(北西から1～4区)と幸町五丁目第2公園に4箇所(北西から5～8区)の調査区を設定し実施した。 現地表 (T. P. +5.1～5.4m前後) 下0.6～1.2mは客土・盛土層および攪乱(0層)である。以下、現地表下2.5m前後までに8層の基本層序を確認した。1層は旧作土層 (T. P. +4.5～5.1m) である。2・3層は作土層 (2層: T. P. +4.4～5.0m 3層: T. P. +4.1～4.7m) である。4～8層 (7層は3区、8層は4～6区で確認) は河川堆積層 (4層: T. P. +4.0～4.6m 5層: T. P. +3.7～4.3m 6層: T. P. +3.2～4.3m 7層: T. P. +3.0m 8層: T. P. +3.0～3.4m) である。 6区では、溝1条 (SD601) を検出した。SD601は南北方向に延びる溝で、幅2.5m以上、深さ0.6m以上を測る。埋土はシルト～粗粒砂で、遺物の出土はなかった。
11. 調査成果	今回の調査では、T. P. +4.0～4.6m以下で河川堆積層を確認したほか、その上位では2枚の作土層を確認した。また6区では、溝 (SD601) を検出した。作土層の時期は、遺物の出土がなく不明ではあるが、周囲の調査成果から2層が近世、3層が中世頃の作土と考えられる。SD601は、旧作土の直下から切り込んでおり近世以後に比定できる。
12. 写真	別紙



第1図 調査地周辺図



第2図 調査区位置図



0 : 客土・盛土層・攪乱

1 : 褐灰色細粒砂混粘土(旧作土層)

2 : 黄橙色シルト混粘土(作土層)

3 : 灰色シルト混粘土(作土層)

4 : 灰オリーブ色シルト(河川堆積層)

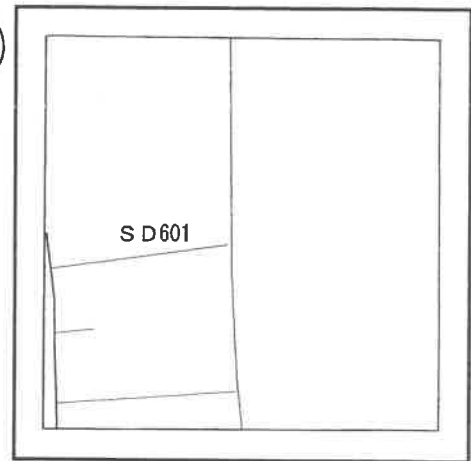
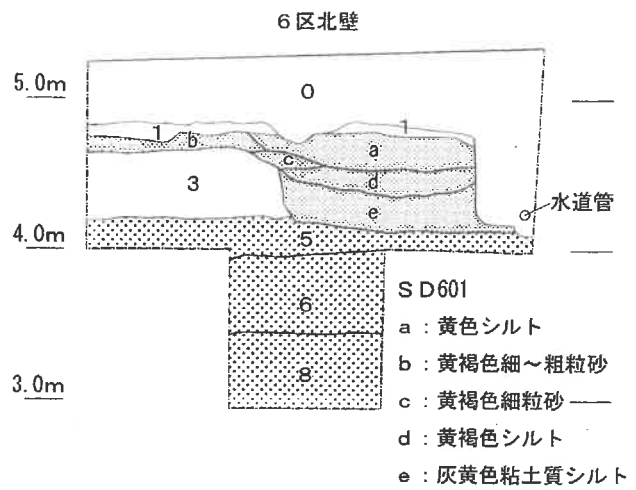
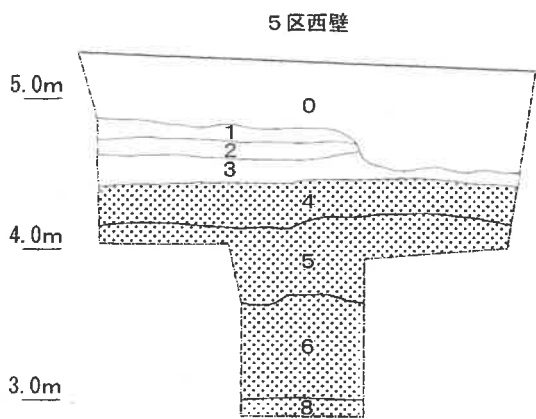
5 : 黄色シルト～細粒砂(河川堆積層)

6 : 黄橙色細～粗粒砂(河川堆積層)

7 : 青灰色粘土質シルト(河川堆積層) 3区で確認

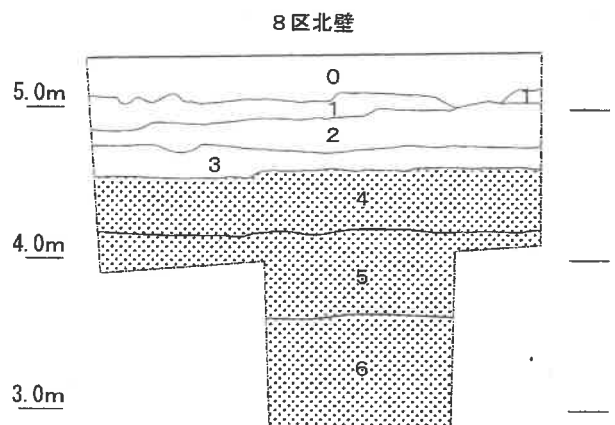
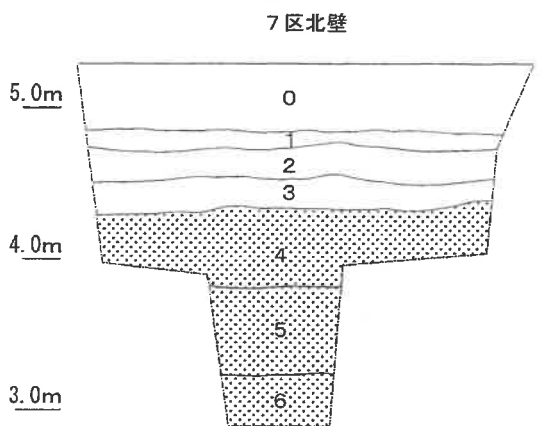
8 : 灰色細～粗粒砂(河川堆積層) 4～6区で確認

第3図 断面図



6区平面

0 (1:50) 1m



0: 客土・盛土層・攪乱

1: 褐灰色細粒砂混粘土(旧作土層)

2: 黄橙色シルト混粘土(作土層)

3: 灰色シルト混粘土(作土層)

4: 灰オリーブ色シルト(河川堆積層)

5: 黄色シルト～細粒砂(河川堆積層)

6: 黄褐色細～粗粒砂(河川堆積層)

7: 青灰色粘土質シルト(河川堆積層) 3区で確認

8: 灰色細～粗粒砂(河川堆積層) 4～6区で確認

第4図 平・断面図



1～4区調査地周辺(南から)



1区全景(南から)



2区機械掘削状況(北から)



2区全景(南から)



3区調査状況(北西から)



3区全景(南から)



4区掘削状況(南西から)



4区全景(南から)



5～8区調査地周辺(北東から)



5区掘削状況(南東から)



5区西壁(東から)



6区機械掘削状況(北から)



6区全景(南から)



7区機械掘削状況周辺(西から)



7区全景(南から)



8区全景(南から)